

教育・文化・スポーツ

**松原小学校
特別転入学制度の概要**



古閑森 秀幸 議員

松原小学校特別転入学制度の募集人員については、地元小学生とのバランスを考慮することである。本制度に関心を寄せている保護者もおられることから、教育委員会ではどのくらいの募集人員を想定されているのか尋ねる。

答 松原小学校特別転入学制度の実施に当たっては、地元の特色を生かしながらか進めていきたいと考えており、地元の子どもたちが一定数必要となることから、今、具体的な数字を答弁することはできない。現在、問い合わせや要望があっているが、地元の特色を勘案し、地元との協議を進めていきたい。



教育・文化・スポーツ

2学期制の見直し



古閑森 秀幸 議員

平成29年9月議会において、2学期制の見直しについては、学期制検討委員会の答申を年内に受けて、今年度内に教育委員会としての結論を出す予定であると答弁であったが、既に答申を受けたのか尋ねる。また、現在の進捗状況についても尋ねる。

答 2学期制の見直しについては、平成29年6月に第1回大村市学期制検討委員会を開催し、同年11月に4回目の検討委員会を開催した。1回目、2回目の検討委員会では、2学期制の成果や課題について審議していただき、3回目、4回目では、平成32・33年度から、小学校・中学校で実施される新しい学習指導要領を踏まえた学期制の検討及びまとめが行われた。平成29年12月19日に5回目が開催され、その後、教育委員会に答申予定である。

都市整備

**車両基地駅(仮称)の
駅名は主体的に**



村崎 浩史 議員

JR大村線に設置予定の「車両基地駅」(仮称)の正式名称は、JR九州に要望できるのか。どのような過程を経て名称は決定されるのか確認したい。新幹線駅(仮称新大村駅)と合わせて、シティプロモーションの観点から、駅名は重要である。大村市が主体的に駅名決定に関与するべきだと考えるが、どのような方針で臨む予定か尋ねる。

答 車両基地駅の名称については、JR九州への要望は可能であるが、平成32年度末にJR九州が決定するため、遅くとも31年度末までには要望したい。また、市の方針としては、シティプロモーションの観点と利用者に親しまれるネーミングとなるよう、さまざまな方からの意見をいただくための検討会議等の設置を考えている。

教育・文化・スポーツ

新しい市民会館の建設計画



北村 貴寿 議員

市議会は、「新しい市民会館をつくる会」からの請願を賛成多数で採択した。市長マニフェストにも市民会館の早期建築の記載があり、また、市長はこれまでに「つくりたい」と何度も意思表示されている。建設されるものと思われる市民もいるが、実際は計画にさえ着手されていない。「つくりたい」から「つくります」と決意表明をしていただきたいがどうか。

答 市民会館については、つくりたい。議会で請願が採択された一方、大型建設事業を控え、市民の財政運営に対する関心も高い。このため、市の持続可能な運営を前提に「つくりたい」という気持ちを伝えている。今後、財源確保や事業を整理し、見通しを立て、時期、場所、規模を含め「つくります」と言えるよう、引き続き取り組みたい。